



令和7年度総会終了

2025年5月23日、福岡センチュリーゴルフ俱楽部にて、朝倉介護保険事業者協議会の令和7年度総会が開催され、両会の役員が出席しました。令和6年度の事業・決算報告、役員選任、令和7年度の事業計画・予算案が審議・承認されました。総会後の理事会で、新役員の互選により、社会福祉法人朝老園の今村順氏が代表理事（会長）に再任されました。

総会後の懇親会には、昨年に続き100名を超える参加があり、食事を囲みながら親睦を深めていただきました。



協議会ホームページへ今すぐアクセス！ <https://asakura.in>

朝倉介護

検索

令和7年度役員紹介

<p><会長（代表理事）>（継） 今村 順 社会福祉法人 朝老園 特別養護老人ホーム朝老園 理事長・施設長</p> 	<p><副会長>（継） 熊本 正史 くまもと内科医院 院長</p> 	<p><副会長>（継） 小谷川 江津子 医療法人社団 うら梅の郷会 介護老人保健施設城山荘 療養部長</p> 
<p><事務局長>（新） 福田 輝和 一般社団法人 朝倉医師会 介護支援センター センター長</p> 	<p><運営部長>（新） 田熊 博 社会福祉法人 寿泉会 理事長</p> 	
<p><研修部長>（新） 坂口 昭太郎 社会福祉法人 小石原福祉会 特別養護老人ホーム清和園 施設長</p> 	<p><広報部長>（新） 尾花 拓也 社会福祉法人 朝倉恵愛会 特別養護老人ホーム宝珠の郷 施設長</p> 	
<p><監事>（新） 今福 華枝 朝倉市保健福祉部介護サービス課 課長</p>	<p><監事>（継） 高良 恵一 社会福祉法人 朝倉市社会福祉協議会 理事</p>	

10 専門部会長

<p><居宅介護支援部会> 矢野 尚美 ケアプランサービスきらく荘 管理者</p>	<p><訪問介護部会> 本村 和枝 東峰村社協ホームヘルプサービス サービス提供責任者</p>
<p><訪問看護・訪問リハビリ部会> 西田 智美 朝倉医師会訪問看護ステーション 管理者</p>	<p><通所介護部会> 野口 英史 デイサービス フレグラソス 理学療法士</p>
<p><通所リハビリ部会> 原口 貴嗣 しのくま整形外科クリニック 理学療法士</p>	<p><福祉用具部会> 中野 栄二 有限会社スキップ朝倉 係長</p>
<p><居宅療養管理指導部会> 福嶋 康道 福嶋医院 院長</p>	<p><グループホーム部会> 宮川 みどり グループホーム さくら 施設長</p>
<p><介護老人福祉施設部会> 眞田 幸司 特別養護老人ホーム 日迎の園 部長</p>	<p><介護老人保健施設部会> 家守 秀彰 介護老人保健施設 アルファ俊聖 事務長</p>

令和7年度 朝倉介護保険事業者協議会 事業計画

〈全体事業〉

1. 認知症サポーター養成講座への活動支援

- ・目的 朝倉地域行政の「認知症サポーター養成講座」への支援を行い、行政と協働で「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」を推進する。
- ・対象者 キャラバン・メイト、一般住民
- ・内容等 キャラバンメイトの状況把握活動、認知症サポーター養成講座へのキャラバン・メイト支援

2. 褥瘡予防研究会

- ・テーマ ～朝倉地区の褥瘡0を目指して～
- ・目的 朝倉地域における訪問系・通所系・施設における事業所職員の連携強化、褥瘡予防に関する知識・技術のスキルアップを図るとともに、地域利用者への還元へ寄与する。
- ・内容等 行政・医療・介護の枠を越えた地域還元ネットワークづくり、ノウハウ習得のための勉強会開催等

〈運営部事業〉

1. 総会の開催

- ・時期 5月
- ・内容 令和6年度事業報告・決算報告、役員選出、令和7年度事業計画（案）・予算（案）

2. 朝倉地域行政・介護保険事業者協議会の連携強化

- ・時期 10月
- ・内容 行政との連携協議

3. 朝倉地域行政・朝倉三師会・介護保険事業者協議会の連携強化

- ・時期 12月
- ・内容 行政指針・地域在宅医療を含めた医療と介護との連携協議

4. 運営会議の開催

- ・時期 毎月第2水曜日
- ・内容 運営会議議題、各専門部会活動等の報告・調整

5. 合同専門部会の調整

- ・ケアマネと医師他 居宅介護支援・居宅療養管理指導
- ・訪問系 訪問介護・訪問看護・訪問リハビリ・福祉用具
- ・通所系 通所介護・通所リハビリ
- ・施設系 介護老人福祉施設・介護老人保健施設・グループホーム

6. 地域内外交流会・事業者間交流会の調整

7. うきはブロック介護サービス連絡会との事業連携

8. 行政・三師会への委員及び専門職等推薦

9. 会員名簿の作成・発行（6月）

〈研修部事業〉

1. スタッフセミナーの開催

- ・対象者 全事業所のスタッフ
- ・場所 朝倉総合市民センター（ピーポート甘木）
- ・時期 年4回（7月、9月、11月、2月）を予定
- ・内容 対人援助、認知症ケア、感染症予防対策 等

〈広報部事業〉

1. 会報誌の発行

- ・対象者 会員事業所、特別会員、関係行政機関他
- ・時期 年4回（6月、9月、1月、3月）を予定
- ・内容 季刊誌としての会報の作成と発送

2. 協議会ホームページの更新・維持・管理

3. 各行事の取材・内容 会報用（記事・写真）

〈専門部会事業〉

1. 部会（10部会）ごとに別途事業計画を立て実施

〈その他〉

運営会議にて承認される事業

事業報告Ⅰ 令和6年度 第4回スタッフセミナー

「2040年問題の課題とこれからの対策」 ～介護人材が減少する時代の介護事業の在り方～

特別養護老人ホーム清和園 坂口 昭太郎

令和7年4月11日(金)、ピーポート甘木の中ホールにおいて第4回スタッフセミナーが開催されました。

当協議会の今村会長の尽力により、介護関係の執筆活動や全国の自治体・介護団体の関係者を対象にした研修や講演活動などで幅広くご活躍中の、北海道介護福祉道場・あかい花 代表、赤い花介護オフィス・CEO 菊地雅洋先生に、表題のテーマでご講演いただきました。



セミナーでは、【2025年以降の人口推移や予想される課題】、【次期介護報酬改定（2027年度～）の論点】、【介護現場での生産性向上の必要性】、【4種類の「じんざい」が存在するという意識を持つ】、【現行のOJTの問題】、【ホスピタリティ意識を持った接遇】といった内容を、分かりやすくご講義いただきました。

講演終了後に実施したアンケートでは、以下のような意見が寄せられました。

- ① 食事面・体調面・心構えの必要性、および疾患に対する基礎知識の重要性
- ② 根拠をもって仕事を行う必要性
- ③ マニュアルの見直しと実践
- ④ ICTを業務効率だけでなく、様々な分野に活用することの重要性

介護現場で起きている様々な問題に対し、菊地先生の講義に多くの方の共感が寄せられ、今後の施設での取り組みに活かしていきたいという前向きな意見が多く見られたことが印象的でした。



また今後、「看取り介護」や「人材育成」などのテーマで、先生の講義を聞いてみたいという感想も多数挙がっていました。先生に講演をお願いできる機会があれば、会員の皆様から多くいただいたテーマでスタッフセミナーをお願いしたいと感じました。

講演終了後、菊地先生との懇親会に参加させていただき、人材育成や地域連携、菊地先生が大好きなお酒と日本ハムファイターズのお話、そして福岡をこよなく愛されているお話など、菊地先生の人柄をより深く知ることができ、とても良い思い出になりました。

今後も研修部として、朝倉介護保険事業者協議会の会員様へ、記憶に残る研修が一つでも多く提供できるよう、皆様からのアンケートを基に研修を企画してまいります。

菊地先生、遠路はるばる福岡までお越しいただき、貴重なご講演をいただきまして誠にありがとうございました。

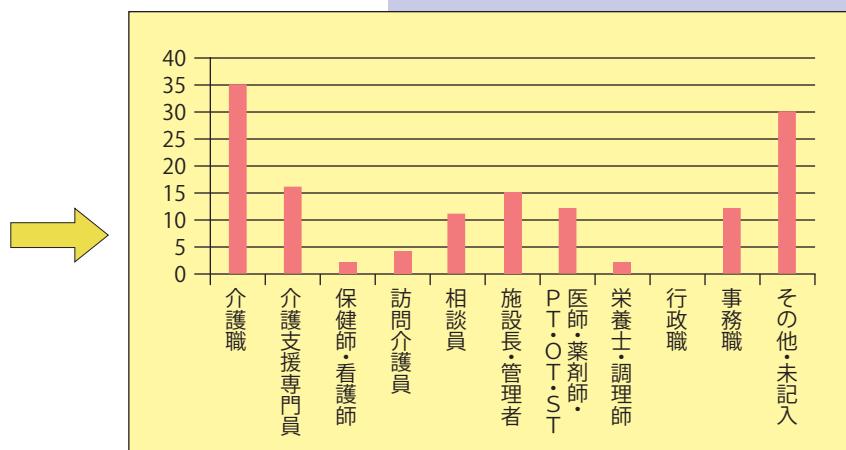


令和6年度第4回スタッフセミナーインケート結果

(1) 参加者の状況

2025/4/11 ピーポート甘木 中ホール

参加者数 名		
	一般	
1 介護職	35	
2 介護支援専門員	16	
3 保健師・看護師	2	
4 訪問介護員	4	
5 相談員	11	
6 施設長・管理者	15	
7 医師・薬剤師・PT・OT・ST	12	
8 栄養士・調理師	2	
9 行政職	0	
10 事務職	12	
11 その他・未記入	30	
合 計	139	



(2) アンケートの集計

① 勤務されている業種

業種	
居宅介護支援	11
訪問介護・入浴	4
訪問看護	2
訪問リハビリ	2
通所介護	15
通所リハビリ	4
支援センター	2
居宅療養管理	0
グループホーム	8
介護福祉施設	19
介護保健施設	29
小規模多機能	3
病院・医院	0
行政	0
福祉用具貸与・住宅改修	1
その他	2
未記入	37
合 計	139

② 現在の職種

職種	
介護職	35
相談員(病院・施設・福祉用具貸与)	11
訪問介護員	4
介護支援専門員	16
看護師	2
保健師	0
OT	6
PT	5
ST	0
医師	0
薬剤師	1
栄養士	1
調理師	1
管理者	15
事務職	12
行政職	0
その他	0
未記入	30
合 計	139

③ 経験年数

経験年数について		
	経験年数	人数
1	1年未満	3
2	1年以上3年未満	6
3	3年以上5年未満	11
4	5年以上10年未満	20
5	10年以上	61
6	未記入	38
合計		139

④ 講義内容について

アンケート回答者数 60名		
	評価	人数
1	非常に良かった	53
2	良かった	27
3	どちらともいえない	5
4	あまり良くなかった	0
5	悪くなかった	0
6	未記入	54
合計		139
アンケート回答率 61.1%		

(3) ご意見をお聞かせ下さい

2027年の介護報酬改定の話を聞き、危機感を感じました。
認知症であっても一人の人間として尊重する大切さ。
研修を受けて、出来ていないことが多かった。
熱い想いが伝わり、疲れた心身を奮い立たせられた。初心にかえることができた。
介護とは、仕事でなく生き方だと思う。
ずっと働きたいと思える職場にしたい。
医療の知識を深めたいと思った。
食事面・体調面・心構えの必要性。疾患に対する基礎知識の重要性。
ICTを業務効率だけでなく様々な分野に活用することの大切さ。
豊橋市の事例が素晴らしかった。
チェーンロックをしていた事件は衝撃的でした。
5S活動の重要性。4種類のじんざい（人材・人財・人在・人罪）

事業報告Ⅱ 部会活動報告

居宅療養管理指導部会

福嶋医院 福嶋 康道

居宅療養管理指導は、要介護状態となった場合でも、利用者が可能な限り居宅で、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士又は歯科衛生士等が、通院が困難な利用者の居宅を訪問して、心身の状況、置かれている環境等を把握し、それらを踏まえて療養上の管理及び指導を行うサービスであり、療養生活の質の向上を図ることを目標としております。

部会には現在29事業者が所属しており、医療と介護の連携にて、地域の状況に応じた医療・介護のサービスの提供をし、利用者が安心して過ごせる様に努めることが目標だと思います。

事業報告Ⅲ 褥瘡予防研究会

(有)環彩甘木・朝倉支店 石丸 博章

褥瘡予防研究会は朝倉圏内の（褥瘡ゼロ）を目標にし、事業者協議会の会員方の連携強化、褥瘡予防に関する知識のスキルアップを図るとともに、地域利用者に還元する事を目標に活動しています。

褥瘡予防研究会は介護老人福祉施設部会、福祉用具部会、居宅介護支援部会とコアスタッフによって運営しています。

今年度も、研修会の開催や各事業所や施設で学ぶ機会を持てるように、DVDや書籍の貸し出し等も行っていき、会員方のお役に立てる様に努めてまいりますので、ご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

うきはブロック介護サービス事業連絡会との情報交換会を行いました

令和7年4月2日、朝倉医師会介護支援センターにて、うきはブロック介護サービス事業連絡会との情報交換会を開催しました。両会の役員が参加し、自己紹介に始まり、事業内容の共有、大規模災害時の利用者受け入れ体制、法定研修の合同実施や高額介護用具の共同購入、連絡手段の整備など、幅広い議題について活発な意見交換が行われました。

この情報交換を通じ、今後の連携強化の必要性を再確認し、当協議会の今年度事業計画にも連携を図る取り組みを盛り込みました。



Hobby Box

趣味を超えて・・・

デイサービスフレグランス 野口 英史

私の趣味、特技は?と聞いて、周りは必ず「サッカー」と答えます。他にもゴルフや温泉（サウナ）巡りなど多岐にわたりますが、どうもサッカーのイメージが強い様です。それもそのはず、私はこの地域で少年サッカーの指導を始めてかれこれ30年近くにもなり、今はや生活の一部になっています。県や筑後地区のトレセンコーチとしても活動しています。月日が経つのは早く今では教え子の子供達を指導する日々です。

また、2010年に教え子や地域の若い指導者を中心に社会人フットサルチーム「やぐら」を立ち上げ、楽しく活動していました。しかしちゃんと、「同じやるなら上を目指そう」と、競技志向の「Castillo 北筑後」（カステリージョ）にチーム名を替え、県リーグに加盟しました。

現在は監督として地域リーグの九州フットサルリーグ1部に所属しています。リーグ戦は九州各県を巡り試合を行っています。ここ数年は、常に九州トップ4には入るも、優勝まであと少し…と言う所で涙をのんでいるため、今季こそは優勝し全国大会出場を目指して活動をしています。この年まで教え子達と共に真剣勝負が出来る環境に感謝しています。

今では教え子の中にも、私と同じ道を選び理学療法士として働く者も多く、私の宝物の一つです。

最後に私が教え子たちに贈る言葉を紹介します。

「苦しい時こそ 心の底から 笑える人間に
そして 感謝の気持ちをいつまでも・・・」

今後もサッカー・フットサルが繋ぐ仲間を大切に自分の出来る範囲で楽しみたいと思います。



介護スタッフリレーコラム

「同志」

特別養護老人ホーム日迎の園 真田 幸司

私は、24歳で介護の業界に入り、今年で25年を迎えました。良く続いたものだなと思っています。この仕事についていた頃は全くの素人で、最初からつまずくことばかりでした。「これは続かない、もうやめよう」と思い上司や同僚に何度も相談しました。それでもこの仕事が続いたのはいつも励ましてくれる「仲間」がいたからだと感謝しています。そして、たくさんの人との結びつきは、地域、九州、全国へと広がっています。以前、私が協議会の役員をさせて頂いている時に「協議会は何のためにあるのか」と質問された時がありました。私は質問者が納得できる答えを出せませんでした。そんな中、昨年度の基本指針「同士（同じ仲間）ではなく同志（志を同じくする）の関係を築く」を見てハッとした。仕事も協議会も単なる仲間が集つて活動しているのではない、志を共にする者が集まり、それに向かって活動しているのだ、そして、その活動はこの地域の介護を充実させ、私たち事業所にもかえつてくるのだと今更ながらに気付かされました。令和7年度より介護老人福祉施設部会長を仰せつかります。基本指針を胸に今後も精進して参ります。

徒然日記

朝倉医師会訪問看護ステーション 西田 智美

訪問看護師 11年

訪問看護師として働きだした時、こんなにも病院との違いがあることを思い知り、戸惑うことばかりでした。在宅では一人として同じ環境はなく、毎日のように違う出来事が起り、一人一人の価値観の違いから個別性を大きく感じています。

私が訪問看護師として働き始めた時、「毎日同じことはない、いつも違うことが起きる。」と笑顔で話す管理者の姿を思い出しました。その時は、その言葉の意味を深く考えていましたが、最近やっと理解できてきたように感じます。訪問先でも良いことばかりではないけれど、日頃

笑顔を見せない療養者さんが笑ったり、訪問しただけで「ありがとう」と感謝の言葉をいただいたらしく心が和み、訪問看護師としてのやりがいを感じます。

療養者さんが自宅でその人らしい暮らしを続けるために支援し、また家族との関わりや医師への代弁者となること、他職種の方と連携・協力することで療養者さんと同じ目標に向かうための重要な役目と考えます。

今日もまた、何が起こるかと思いながら訪問に行ってきます。

編集後記

「異次元の少子化対策」が話題になって久しいですが、介護現場の課題は“異次元の人手不足対策”です。AIやロボット導入の話もよく耳にしますが、多くの現場では、いまだに「腰」と「気合」と「手書き」が最大の武器なのではないでしょうか？

講演会で聞いた「4種類の“じんざい”」では、思わず自分を照らし合わせた方も多いはず。でも、こうして会報を通じてつながる皆さん、間違いなく“ジンザイ”——朝倉の介護に明かりを灯す、かけがえのない“人財”ですよ。（広報部：尾花）

事務局

朝倉介護保険事業者協議会 事務局
〒838-0069 福岡県朝倉市来春422-1
一般社団法人 朝倉医師会
介護支援センター 医師会ケアプラン
TEL 0946-21-8022 FAX 0946-21-8028

編集／発行所

朝倉介護保険事業者協議会 広報部
〒838-1702 福岡県朝倉郡東峰村福井942-1
社会福祉法人 朝倉恵愛会
特別養護老人ホーム 宝珠の郷
TEL 0946-72-9811 FAX 0946-72-9813
印刷／井上総合印刷株式会社